

令和4年度が始まりました。

文責 学校長



～コロナ感染第7波への備えと感染防止に協力を～

1 武雄高校に新しく14人の先生方が赴任されました。

3月頃から本校においても感染者が出始め、春休みには部活動内での感染事例も出ています。令和4年度も本日からスタートとなりましたが、コロナの感染が中々収まらないままに、第7波の襲来も予感させる状況です。コロナ時代の生活習慣の確立と引き続き感染拡大防止にご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、生徒諸君。春休みが終わり本日の始業式より令和4年度が始まりました。コロナウイルスの感染第7波の襲来も危ぶまれますが、心も新たに今日からの高校生活の一日一日をしっかりと過ごしていきましょう。今年度もこの『校長通信』を配付し、様々な情報を提供していきます。親子での話題の種にいただければ幸いです。諸君一人ひとりが、それぞれの学年で「夢を探し」（1年生）、「夢を温め」（2年生）、そして「夢の扉を開く」（3年生）1年になることを期待しています。自分の可能性を信じ、そして何よりも自分の努力を信じて、共に励まし、共に競い合いながら夢実現のその日まで頑張りましょう。

◆今春の人事異動で武雄高校に赴任することになった先生方は以下のとおりです。※敬称略

- | | | | |
|--------------|---------------|-------------|------------|
| ○森 和隆 (副校長) | ○進藤安恵 (事務長) | ○日山孝子 (国語) | ○井上正三 (数学) |
| ○足立喜治 (数学) | ○伊達正顕 (数学) | ○松隈秀憲 (物理) | ○中村雅子 (美術) |
| ○金崎香織 (家庭) | ○南里 翔 (地歴) | ○山口ゆかり (音楽) | ○小松洋子 (養護) |
| ○渕上隆史 (学校技師) | ○待永志保子 (進路事務) | | |

2 「如蘭塾」の塾歌・塾旗の披露式が開催されました。

4月2日(土)に「如蘭塾」(一般財団法人・清香奨学会)の80周年の記念行事として「塾歌・塾旗」の披露式が行われました。「塾旗」は白黒写真しか残っておらず、当時の白黒写真をカラーで再現する技術が駆使されて、えんじ色の背景に桜色の紋章が再現されました。続いての「塾歌」の披露には、本校吹奏楽部のメンバーから11名が参加し、再現した「塾歌」を合唱し、花を添えました。その後、創立者「野中忠太翁銅像」の銘文除幕式が執り行われました。毎年、この財団の事業として中国との交流にこれまで本校生徒も多数参加しています。



3 今週の名言・・・大隈重信の言葉です。

○学問は脳、仕事は腕、身を動かすは足である。しかし、卑しくも大成を期せんには、先ずこれらすべてを統(す)ぶる意志の大いなる力がある。これは勇氣である。



【解説】今週の一冊『威風堂々』の主人公・大隈重信の言葉です。「大事業を成し遂げるには、鋭い頭脳、高い技術が必要だ。そして軽やかなフットワークも欠かせない。しかし、知識、技術、活動力を統一するのは意志の力で、意志を貫くのは勇氣だ。」という意味です。大隈重信は郷土佐賀の人で、早稲田大学の創立者として有名ですが、幕末から維新にかけて活躍した政治家であり、非常な負けず嫌いで、政変で失脚したり、暴漢に襲われて右足を失ったりと幾度も危機にみまわれますが、それを乗り越えて、二度も首相の座にもついています。勇氣には事欠かない人物だったといえかもしれません。武高生諸君にもそれぞれの大成を為すためには強い意志・勇氣が必要です。日々の成長を支える意志・勇氣をしっかりと確立しましょう。

4 今週の話事成語・・・「之を知る者は、之を好む者に如かず、之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」 【問題】英語で表現すると？

知る者は、好んでやる者には及ばない。更に好んでやる者は、楽しんでやる者には及ばない。

(出典：『論語』雍也篇より)

【由来】漢文における、比較の文章です。「知るよりは、好き、が上。好きより、楽しんでいる方が上。」という意味。「及ばない」というのは、かなわないと言うこと。知っている人よりも、それを好きだなあ、って思っている人の方が物事の上達が早く、更に上なのは楽しんでやっている人達が、1番だという孔子の言葉。学問において、最強の勉強法は「楽しむ」ことだと、勧めているのです。

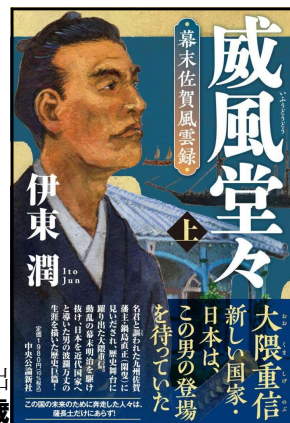
5 入試によく出る漢字(その26)・・・センターテスト(2014年度追試験)に挑戦！

- (1) 闘いを亘んでいるわけである。〔①世のフウチョウを憂える。②高原のセイチョウな空気。③チョウバツを加える。④不吉なことが起きるゼンチョウ。⑤対戦相手をチョウハツする。〕
- (2) 覚醒をウナガさねばならない。〔①対応がセツソクに過ぎる。②スイソクの域を出ない。③原稿をサイソクされる。④体育でソクテンを練習する。⑤ショウソクを尋ねる。〕
- (3) 彼らをツイキュウし撃破しようとするわけだ。〔①庭にキュウコンを植える。②においをキュウチャクさせる。③不安が全体にハキュウする。④フキュウの名作を読む。⑤会議がフンキュウする。〕
- (4) コンピュータの夢のドレイでしかないのに対して、〔①ヒレイな行為をとがめる。②レイミウな響きに包まれる。③安全運転をレイコウする。④バレイを重ねる。⑤封建領主にレイゾクする。〕
- (5) 対独戦争の単独即時テイセンを決断した。〔①記念品をシンテイする。②条約をテイケツする。③梅雨前線がテイタイする。④国際平和をテイショウする。⑤敵の動向をテイサツする。〕

6 今週の一冊・・・伊東潤の『威風堂々』・上巻 (中央公論新社) です。

天保九年(一八三八)二月一六日。九州の佐賀城下にひとりの男子が誕生した。幼名を八太郎。後の大隈重信である。名君と謳われた佐賀藩主鍋島直正(閑叟)に、その才能を見いだされ、同じく熱い志を持つ仲間たちと、激動の幕末へ乗り出した若き重信。西郷隆盛、大久保利通、坂本龍馬、岩崎弥太郎をはじめ錚々たる志士たちと巡り会い、佐賀の、そして日本の未来のために奔走する! 近代国家・日本の礎を築いた偉人の生涯を描く!

(参考:本書裏表紙解説より)



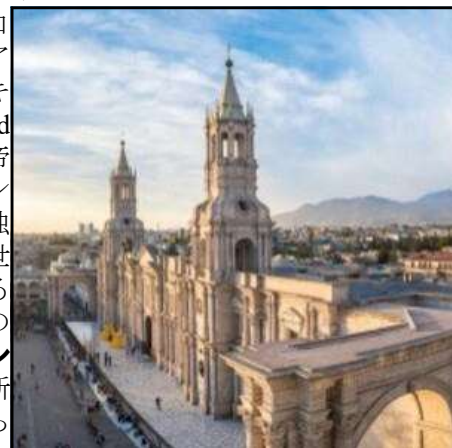
【解説】佐賀新聞に連載されていた伊東潤先生の新聞小説『威風堂々』がついに書籍として出版されました。佐賀県人必読の一冊です。これまでも司馬遼太郎の『アームストロング砲』や『歳月』などで幕末維新期の佐賀藩の活躍は断片的に描かれてはいましたが、大隈重信を始めとして佐賀の七賢人の活躍がリアルに描かれている小説は初めてです。NHKの大河ドラマになることを期待したいドラマ性溢れる作品となっています。上巻は佐賀を舞台として若き日の大隈が長崎に出かけ、岩崎弥太郎や坂本龍馬と出会うシーンもリアルに描かれておりワクワク感溢れる作品となっています。武雄温泉も藩主・鍋島直正の病氣療養地として登場します。新年度第一冊目として次号(下巻)と合わせて紹介します。

【作者・伊東潤について】1960年、神奈川県横浜市生まれ。早稲田大学卒業。外資系企業に勤務後、経営コンサルタントを経て2007年、『武田家滅亡』でデビュー。『黒南風の世界——加藤清正「文禄・慶長の役」異聞』で「第1回本屋が選ぶ時代小説大賞」を、『国を蹴った男』で「第34回吉川英治文学新人賞」を、『巨鯨の海』で「第4回山田風太郎賞」と「第1回高校生直木賞」を、『峠越え』で「第20回中山義秀文学賞」を、『義烈千秋 天狗党西へ』で「第2回歴史時代作家クラブ賞(作品賞)」を受賞。著作多数。近著は『夜叉の都』。

7 世界遺産を巡る・・・第51回はアレキパ市歴史地区(ペルー)

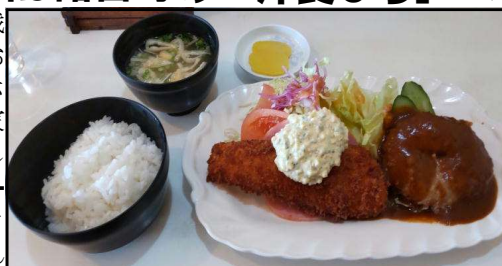
(登録:2000年)

【解説】アレキパ(Arequipa)は、ペルー共和国南部にある同国第2の都市。人口は約90万人。アレキパ県の県都である。アレキパの名前の由来は皇帝がケチュア語で人々に"Ari qhipay"(ここに住みなさい)と言ったことからきています。アレキパのセントロにある建物は近郊で採れる白い火山岩から造られているため"Ciudad Blanca"(白い町)と呼ばれています。ペルーの南部にあるアレキパ市は、インカ帝国時代の歴史が残る風情ある都市です。街の建物は、イギリス、スペイン、オランダが融合したコロニアルスタイルと呼ばれる建築様式に、石灰岩の白がアレキパ独自の雰囲気を作り出しました。2000年には「アレキパ市の歴史地区」として世界遺産に登録されています。そんな魅力溢れるアレキパ市の広場に植えられている熱帯植物や、ライトアップされた街並みは癒される風景です。現在はペルー南部の商業の中心地となっています。市内最大のみどころは1579年に建てられたサンタ・カタリナ修道院です。外部は白い壁で囲まれ、1970年まで外界との接触を断った修道生活が営まれていました。ひんやりとした内部は迷路のように回廊が巡らされ、当時の家具や幾世紀にもわたって収集された美術品が展示されています。



8 街角グルメを訪ねて・・・第51回は諸富町の「洋食ひろ」です。

諸富町体育館にバスケットボール部の新人戦決勝リーグを観戦に言ったときに立ち寄ったお店です。ご夫婦で切り盛りされているアットホームな洋食屋さんです。国道に面したお店で家賃がかかっているのか、料金はやや高めでした。この日はB定食(サケフライ・ハンバーグ・ロスハム)1400円を注文しました。チキンカツ定食だと880円です。ご夫婦お二人でされているので、料理が出てくるまでに少し時間はかかりますが、ハンバーグもサケフライも絶品でした。特に、サケフライはサケの風味がフライの衣の中に閉じ込められており、焼き魚として食べるより数段美味いと感じました。諸富の国道沿いには他にも美味しそうな店がたくさん並んで建っていますので、開拓の余地はまだまだありそうです。



9 保護者の皆様へ

新年度が始まりました。お子様が新しい学年・クラスにおいて、いいスタートを切れますように温かくご家庭から送り出してください。「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」の一声と毎晩のコーヒー1杯の差し入れを、夢の扉が開くその日までよろしく願いいたします。また、朝ごはんと昼食のお弁当の準備もどうぞよろしく願いいたします。

【英語】◇ To like is better than to know. To enjoy is better than to like.

◇ One who knows is no match for one who likes. One who likes is no match for one who enjoys.

◇ One who only knows it is no match for one who likes it. One who only likes it is no match for one who enjoys it.

◇ They who know the truth are not equal to those who love it, and they who love it are not equal to those who delight in it.

【正解】(1)挑[風潮・清澄・懲罰・前兆・挑発](2)促[拙速・推測・催促・側転・消息](3)追及[球根・吸着・波及・不朽・紛糾](4)奴隸[非礼・靈妙・勵行・馬齡・隸屬](5)停戦[進呈・締結・停滯・提唱・偵察]